

会 議 録

会議の名称	平成30年度（2018年度）第2回豊中市市民ホール指定管理者選定評価委員会		
開催日時	平成30年（2018年）9月27日（木） 13時00分～15時20分		
開催場所	文化芸術センター ミーティングルーム1	公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可
事務局	都市活力部 文化芸術課	傍聴者数	0人
公開／非公開	公開		
出席者	委員	江口会長 本田委員 藤野委員 那須委員 前田委員 上田委員 丸子委員	
	事務局	志水都市活力部次長兼文化芸術課長 橋本主幹 栗田課長補佐 西岡企画係長 原田主事 川南	
	その他		
議題	1) 書類審査について 2) ヒアリング審査の手法等について 3) 今後のスケジュールについて		
審議等の概要 (主な発言要旨)	別紙のとおり		

<文化芸術センター現場視察>

<事務局：開会>

<事務局：会議資料の確認>

【事務局】

『豊中市市民ホール指定管理者選定評価委員会規則』第6条第1項の規定により、委員会の議長は会長に務めていただくことになっているため、江口会長にお願いする。

【会長】

審議に入る前に事務局に定足数の確認を求める。

【事務局】

『豊中市市民ホール指定管理者選定評価委員会規則』の第6条第2項により「委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない」とあるが、委員7名のうち、全ての委員にご出席いただいているため、本委員会が成立していることを報告する。

【会長】

議題に入る前に事務局に前回の選定評価委員会の振り返りを求める。

<事務局：資料①『平成30年度（2018年度）第1回豊中市市民ホール指定管理者選定評価委員会 会議録』に基づき説明>

・P6～8評価基準表を確定し、9月5日までに各委員に書類審査をお願いした。全員から提出いただき、今回の委員会の資料②としてとりまとめた。

・P7評価項目2の1)～4)について、各ホール等の平均値や合計値ではなく、ホールごとの実績の分析が必要ではないかとの意見を受け、各委員あてデータを送付した。

・P7財務状況について、1団体について厳しい状況であるとの意見があり、改善計画等についてヒアリング等で確認することとなった。

【会長】

事務局より前回の選定評価委員会の振り返りがあったが、質問等はあるか。

<委員：質問等なし>

議題1 書類審査について

【会長】

議題1「書類審査について」事務局に説明を求める。

<事務局：資料②『指定管理者制度導入施設の管理運営業務の中間評価 書類審査とりまとめ』に基づき説明>

・当資料については、各委員から提出された書類審査の結果をとりまとめたものである。評価ポイントごとに合議にて書類審査結果を決定いただきたい。

【会長】

本日の会議では、各項目の3段階評価(A B C)の合議による確定を行い、評価理由については、本日出た意見や重複している意見を整理して事務局案としてまとめたものを次回の委員会で提示いただき、次回はその案に基づき議論するというところでどうか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、合議による書類審査を始める。

評価項目1の1)について、4人がB評価としているが、評価を保留にしている委員はどうか。

【委員】

市による評価に異論がなく、保留とした。評価としてはBが妥当と思う。

【委員】

専門外なので保留とした。Bとして異存はない。

【会長】

合議結果としては、Bとして問題ないか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目1の1)については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目1の2)についてはどうか。

【委員】

1の1)と同様である。

【会長】

合議結果としては、Bとして問題ないか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目1の2)については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目2の1)については、ホールごとの評価基準がないと評価が難しいところだと思うが、3人がA評価、1人がB評価としている。B評価を付けた委員、保留としている委員はどうか。

【委員】

A評価とまでの数値とは思わなかったので、Bとした。ただ、小ホールは使い勝手がよく人気があるという評判は聞いている。

【委員】

前年度の評価は大切だと思う。28年度から29年度にかけて実績が伸びているので、その点については、A評価としたほうがよい。

【委員】

今回は、全ホール等の合計値でよいが、次回からはより詳細に分析できるよう、ホールごとの評価基準があるほうがよい。

【会長】

では、そのように付帯事項として記載するというので、A評価としてよいか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目2の1)については合議結果Aとする。

【会長】

評価項目2の2)についても、評価にバラつきがあるがどうか。

【委員】

指定管理者の事業がほとんど実施されていないので、指定管理者の中で学芸員の配置があるのであれば、学芸員主導で事業をしてもらいたい。

【事務局】

今年度より、市や指定管理者の主催事業を行うことで、使い方についてのPRもしていければという話を指定管理者としている。

【会長】

では、改善を要することを付記して、励ますという意味も込めて、Cということでよいか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目2の2)については合議結果Cとする。

【会長】

評価項目2の3)についても、評価にバラつきがあるがどうか。

【委員】

評価項目2の1)と同様に、28年度から29年度にかけて実績が伸びている点を評価した。

【委員】

音響や使い勝手、駅からの距離等を加味して、ホールごとに詳細に分析すると評価も違ってくるかもしれないが、3つのホールの合計ということであればBが妥当だと思う。

【会長】

評価項目2の1)と同様に、今回は、各ホール等の合計値でよいが、次回からはより詳細に分析できるよう、ホールごとの評価基準があるほうがよいと付帯事項として記載するということで、B評価としてよいか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目2の3)については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目2の4)については、特にバラつきがないのでB評価としてよいか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目2の4)については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目2の5)については、特にバラつきがなくB評価となっているが、会員数が減少している点が気になる。

【委員】

28年度のオープニングラインナップと比較して、29年度は下がったというのは酷な気がするが、他のホールでの成功事例等を見本にして、今後の計画について検討してもらいたい。

【会長】

委員の評価理由の部分にも書かれているが、会員数減少の要因分析をきちんと行って向上策の提示を求める旨記載するというので、B評価としてよいか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目2の5)については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目2の6)については、評価にバラつきがあるがどうか。

【委員】

人材育成をしている成果が見えない。大阪音楽大学との連携にしても、人材育成といえるレベルではなく、演奏場所の提供にとどまっている。人材育成に関するプロデューサーやコーディネーター的な人材が指定管理者の中にいないのではないかと。難しいとは思いますが、推進項目として挙がっていることなので、しっかりと取り組んで頂きたい。

【委員】

確かに、人材育成の問題は非常に難しく、他の比較的大きなホールでもプロデューサー的な方がいなかったり、いても忙しくてそこまで見られなかったりと、なかなかできていないのが現状だと思う。他の全国のホールと比べると、比較的熱心なスタッフがいて積極的な姿勢が見られると思う。

【会長】

委員も仰っているが、創意工夫という点に関しては、不十分なところもあると思うので、その点を求めることを記載するというので、B評価としてよいか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目2の6)については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目2の7)についても、評価にバラつきがあるがどうか。

【委員】

創意工夫が見られるとは、思わなかったのでC評価とした。他のホールがしていることとあまり変わらないので、選定時の提案にあったように、もっと豊中の特色が出ることもしてもらいたい。

【委員】

当初のラインナップから比べると改善されてきていると思うが、豊中でしかできないものというのはまだ少ないように思う。

【会長】

評価項目2の6)と同様に、創意工夫という点に関しては、不十分なところもあると思うので、その点を求めることを記載するというので、B評価としてよいか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目2の7)については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目2の8)については、特にバラつきはないが、意見はあるか。

【委員】

貸館料金については、無料の催しだと、他と比較しても費用的に高くはない点をもっと周知したほうがよい。また、キッズルームが無料で遊べるのがよいということを利用者から聞いているが、貸館利用時の保育室という本来のあり方からすると中途半端な利用方法に感じ

る。

【会長】

合議結果としては、Bとして問題ないか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目2の8)については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目2の9)については、特にバラつきはないが、認知度がまだ低いのもっと創意工夫をお願いしたいと思うがどうか。

【委員】

広報誌や他の様々なPR方法を活用してもっと認知度を上げてもらいたい。

【委員】

認知度を上げるために、ある程度の資本投下をしたほうがよいと思う。また、アンケートの活用も有効と感じる。

【会長】

創意工夫をして認知度向上を求めることを記載するという事で、B評価としてよいか

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目2の9)については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目2の10)については、特にバラつきがないのでB評価としてよいか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目2の10)については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目2の11)については、特典の内容が分かりにくいように思うが、特にバラつきがないのでB評価としてよいか。

【委員】

特典内容は、入会時の説明書のようなものの中にはあったが、施設内のカフェの特典があるほうがよい。

【会長】

評価項目2の5)と同様に、会員数減少の要因分析をきちんと行って向上策の提示を求める旨記載するというので、B評価としてよいか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目2の11)については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目2の12)については、評価項目2の9)で議論した内容と重複すると思うので、同様のコメントを記載するというので、B評価としてよいか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目2の12)については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目2の13)については、特にバラつきがないのでB評価としてよいか。

【委員】

視察をした13時過ぎの時間帯に、カフェに誰もいなかったので経営面が気になる。

【委員】

ここのカフェに来ようという魅力に欠ける部分がある。

【会長】

合議結果としては、Bとして問題ないか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目2の13)については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目2の14)については、評価にバラつきがあるかどうか。

【委員】

書類を見て、市へ定期的にきちんと報告できていると感じたので、A評価とした。

【委員】

この指定管理者の業務が、市の計画等の文化政策のどの部分に位置付けられ、どの程度実現されているのかということを検証する必要があると思う。審議会の中でも、選定評価委員会の評価結果報告はしてもらったほうがよいと思う。

【事務局】

審議会の中で、指定管理者の業務を含む市の文化政策としてのプランの進行管理はしていると考えている。また、審議会への評価結果の報告についても検討する。

【会長】

では、評価結果について審議会等への報告をお願いするとして、合議結果としては、Bとして問題ないか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目2の14)については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目2の15)については、評価にバラつきがあるかどうか。

【委員】

全国的にみて資質の高いスタッフがいると感じたので、A評価とした。

【会長】

合議結果としては、Bとして問題ないか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目2の15)については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目2の16)については、特にバラつきがないのでB評価としてよいか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目2の16)については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目3の1)については、評価にバラつきがあるが、財務に関することなので専門家の委員の意見はどうか。

【委員】

C評価にするか非常に悩んだが、4団体の平均で見ると暫定的にB評価とした。しかし、1団体に関して指定管理期間の5年目の活動が正常にできるかということが非常に懸念されるので、最終的な評価はヒアリングをして決めたいと考えている。まず、当該団体に対し、財務状況の確認をするとともに、代表団体に対しても、この点についてどの程度認識していて、どう対策を講じようとしているのかということを確認したい。選定時には、代表団体として責任を持つということだったが、実際にこのような切羽詰まった状況になってきて、どう考えているか確認してから評価したい。

【委員】

当該団体は、事業プランニングに於いて重要な存在である。このような財務状況の下で、きちんとしたプロデュースや事業展開ができるのかが懸念される。

選定時のヒアリングで、代表団体から「財務面で問題があれば責任を持つ」という発言があった。4団体の総財務状況という観点では問題無いのかも知れないが、慎重に検討する必要性を感じる。

【会長】

ヒアリング結果次第で評価は変更してもよいと思うので、各委員の意見を反映した書類審査結果の原案を指定管理者に示し、ヒアリング時には緊張感をもって臨んでいただくという意味で、Cとしてよいか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目3の1)については合議結果Cとする。

【会長】

評価項目3の2)についても、評価にバラつきがあるかどうか。

【委員】

予算と決算の乖離がある費目があるので、この予算規模であれば、もう少し予算を守っていく姿勢が必要ではないかと思い、C評価とした。

【委員】

当初の計画より人件費が膨らんでいると思うが、オープン時に業績がよかったため、人を増やしたと聞いている。また、評価項目3の1)と比べるとこの項目は、まだ何とかできるかと思いB評価としている。

【会長】

この項目についても、ヒアリングで確認することとして、合議結果としては、Bとして問題ないか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目3の2)については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目4の1)については、特にバラつきがないのでB評価としてよいか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目4の1)については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目4の2)については、特にバラつきがなくB評価となっているが、苦情対応マニュアルがなく、苦情があった場合に市への報告はしているようだが、苦情主にきちんと回答しているのか分からないので、ヒアリングで確認したいと思っている。

合議結果としては、Bとして問題ないか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目4の2)については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目4の3)については、特にバラつきがないのでB評価としてよいか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目4の3)については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目4の4)については、評価にバラつきがあるかどうか。

【委員】

市内大学との連携について評価されている委員もおられるが、実態としてはごくわずかな範囲に留まっている。また、選定時の提案に記載されていた豊中の特色を活かした市民等との連携も、目立った成果がうかがえないのでC評価とした。もっと積極的に取り組んで頂きたい。

【会長】

それでは、この項目についても、ヒアリングで確認することとして、指定管理者に対策を考えてもらうという意味で、合議結果としてはCとするということでしょうか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目4の4)については合議結果Cとする。

【会長】

評価項目5の1)については、評価にバラつきがあるが、労務に関することなので専門家の委員の意見はどうか。

【委員】

まず、訂正があるが、評価項目5の1)の評価はBとして、評価理由は評価項目5の3)の評価理由のコメントをそのまま入れてもらいたい。

【会長】

では、評価項目5の1)については、特にバラつきがなくなったのでB評価としてよいか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目5の1)については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目5の2)については、特にバラつきがないのでB評価としてよいか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目5の2)については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目5の3)については、特にバラつきがないのでB評価としてよいか。

【委員】

この項目についても訂正があり、評価はCに訂正してもらいたい。平成28年10月発生の労災について、労働基準監督署に労働者死傷病報告をしていないとのことなので、この点については、労働安全衛生規則等の法令違反となる。

【会長】

では、評価項目5の3)については、C評価としてよいか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目5の3)については合議結果Cとする。

【会長】

評価項目6については、特にバラつきがないのでB評価としてよいか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目6については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目7については、特にバラつきがないのでB評価としてよいか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目7については合議結果Bとする。

【会長】

評価項目8については、評価にバラつきがあるかどうか。

【委員】

指定管理者のプランニングによる第九は、公民分館活動の一環として豊中で長年続けられてきた第九とは別のものである。残念ながら、公民分館活動としての第九は活動を終了してしまっただが、復活を望む声も多い。

【委員】

もともとの第九の活動は、地域の方々が設営を行うなど毎年楽しみにしていた。

【会長】

それでは、この項目についても、ヒアリングで確認することとして、合議結果としてはBとするということでしょうか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、評価項目8については合議結果Bとする。

【会長】

総合評価については、特にバラつきがなく、今までの各項目での議論を踏まえても、B評価としてよいか。

<委員：異議なし>

【会長】

それでは、総合評価については合議結果Bとする。

【会長】

議題1 書類審査については以上とする。

議題2 ヒアリング審査の手法等について

【会長】

ヒアリング審査の手法等について説明を求める。

<事務局より資料③『ヒアリング審査の手法等について』に基づき説明>

【会長】

P2の事前調査表について、送付日程をずらしてもよいので、今回の会議で挙げた質問事項を反映したものを送付していただきたい。

【事務局】

了解した。作成に時間をいただきたいので、締切日についても調整する。

【会長】

P1について、ヒアリングが30分では短いのではないかと。1時間は必要ではないかと。

【事務局】

1時間に変更する。質問に対する回答時間についても、質問件数に応じて再調整する。
また、ヒアリング審査に加え、その内容を踏まえた議論をしていただく必要があるため、次回は時間を延長する可能性があるが、ご理解いただきたい。

【会長】

その他、ヒアリング審査の手法等について何か質問、意見等はあるかと。

<委員：質問等なし>

【会長】

議題2 ヒアリング審査の手法等については以上とする。

議題3 今後のスケジュールについて

【会長】

今後のスケジュールについて、事務局に説明を求める。

<事務局：資料④『豊中市市民ホール指定管理者中間評価に係るスケジュール』に基づき説明>

【会長】

何か質問、意見等あるか。

<委員：質問等なし>

【会長】

本日の議題は全て終了した。

平成30年度(2018年度)第2回豊中市市民ホール指定管理者選定評価委員会を閉会する。